

2018年4月10日

ジャカルタジャパンクラブ

会員各位

ジャカルタジャパンクラブ
海外邦人安全対策連絡協議会

最近の政治・治安情勢

(1) 最近1か月間の間、テロなどの大きな事件は発生していない。宗教指導者や宗教関連施設に対する襲撃事件については、犯人の動機や事件の背景等について引き続き警察による捜査が行われている。ラマダン(イスラムの断食月)に向けたテロ等の動向は不明であり、注意が必要である。

(2) スカルノ初代大統領三女のスクマワティ氏が朗読した詩が、イスラム教を侮辱しているとして、6日にイスラム団体がモスクでデモを実施した。スクマワティ氏が事前に謝罪したことにより、デモは小規模なものとなった。今後もデモの可能性は少ないと考える。宗教関連のデモについては、大使館の領事部からもお知らせメールを配信している。宗教関連のデモは大規模化・暴徒化する可能性もあるため注意する必要がある。

邦人に関わる最近の事件・事故報告

(1) 最近1か月の間、旅券の紛失を除き、邦人に関わる事件・事故はなかった。ただし、ラマダン期間中は、ひったくり、強盗、スリ等、年間で最も犯罪件数が多い時期のため、注意していただきたい。これは、レバラン(断食明け大祭)休暇に出費がかさむためであると考えられる。また、ラマダン期間中は、アルコール飲料を提供する飲食店に対してイスラム団体が独自にスリーピングや査察を行っているため、注意して頂きたい。イスラム団体のこのような行動について、警察は公式には認めていないが、黙認しているのが現状である。

(2) レバラン休暇にバリ島に旅行に行く機会が増えると思うが、海難事故には注意していただきたい。最近、サーフィン中に邦人が亡くなる事案もあった。バリ島やフローレス島等はサーフィンには良いスポットであるが、波力発電を行うことができるほど波が高い。子供を遊ばせる際には絶対に目を離さないようにすること。万一、海難事故にあい、呼吸停止した場合、早急な心肺蘇生が必要になる。

(3) 心肺蘇生についてはAEDの活用が有効だが、AEDには日本語版の他に英語版もある。各企業におかれては、オフィスに設置されているAEDの言語を事前に確認しておくことをお勧めする。救命救急の研修を行っている企業は少ないが、運転免許の研修等で習った救命救急を思い出してもらいたい。呼吸停止している場合は、原因が脳であるか心臓であるかに関わらず、必ず心臓マッサージを行う。心臓マッサージは心臓を直接圧迫するのではな

く、胸の真ん中を圧迫する。1分間に100回を目安にし、30回続けたら一度呼吸の確認を行う。20～30分程度続けて行うこと。脈が戻ったり、意識が戻れば止めてもよい。事故等の現場に居合わせた場合、遠慮や萎縮をせず、積極的に心肺蘇生を行うことが重要である。

3 領事部からの報告

(1) ラマダンに向けて事件・事故の増加が予想されるため、大使館からも各種注意喚起を行う予定である。昨年は、前年に比べて事件・事故の件数は少なく、飲食店に対する査察等を含め、邦人に対する身柄拘束件数も少なかった。しかしながら、当局が警戒を強めるので注意が必要である。ラマダンの日程は5月15日～6月14日の予定だが、正確な日程は宗教省が発表する。

(2) 安否確認訓練の実施

3月29日、約2万人の全在留邦人を対象にメールによる安否確認訓練を実施した。在留届にメールアドレスの登録のあった15,828人に対して安否確認のメールを送信し、3,243件の回答があった(約20%)。回答率は、今年2月にタイで実施した同様の訓練とほぼ同じであった。インドネシアが本訓練の実施国となった理由は、在留邦人が多いことに加えて、地震や火山などの自然災害が多い地域であること、テロなどの邦人の安全を脅かす事案が発生していることである。本訓練の結果はシステムの整備及び向上のために活用される。

(3) ゴルゴ13×外務省 海外安全対策マニュアル(動画版)について

4月8日に河野外務大臣や舘ひろし氏が声優となり、さいとうたかお氏原作の「ゴルゴ13×外務省 海外安全対策マニュアル(動画版)」を対外発表した。動画は全13回で、第4回はインドネシアのジャカルタが舞台になっている。是非情報共有していただきたい。

(3) 第300回海外邦人安全対策協議会セミナー(5月8日開催)

来月の本協議会は第300回を迎えることもあり、安全な住まいに関するセミナーを開催する。リスクマネジメントやセキュリティの専門家に講演を依頼する予定である。ラマダンに向けての注意喚起としての意味合いも強い。JJCと大使館で参加者を募集するが、本協議会メンバーは是非参加していただけるようお願いしたい。

本セミナーは、2015年に邦人女性が安全であるはずの住まいで殺害された事件を風化させないため、ご遺族の活動の一環として企画された。ご両親は、ご自身の活動が海外で生活する邦人の安全対策の一助となることを強く希望しておられる。

(4) VOAに関する事案

出張でジャカルタを訪問した邦人が査証免除で入国しようとしたところ、入国審査官からパスポートを取り上げられ、ATMでお金を下ろしてVOAで入国するよう指示された事案が当館領事部に対して報告された。しかし、VOAの支払いは米ドルのみであり、ATMで米ドルは下ろせないため、当該入国審査官の意図は不明である。また、入国目的に従ってVOA取得を指示されることはあっても、パスポートを取り上げられることは通常ない。経緯を確認するため、報告者に対して再度連絡を試みたが、未だ回答がない状況である。VOAトラブルは最近減少しているが、何かあれば大使館へご連絡いただきたい。

(5) アジア競技大会における交通規制

8月～9月にかけて実施されるアジア競技大会において、大規模な交通規制が行われる可能性がある。ジャカルタ、パレンバンのみならず、ボゴール、バンドン、チカラン等でも競技が実施される予定である。在留邦人及び邦人旅行者の安全確保、危険回避のため、今後、大使館からウェブサイト等で情報発信をしていきたい。

質疑応答、各社（団体）からの報告など

1) 先日、日本人学校の幼稚部・スタッフなどにAEDのトレーニングを行った。インドネシアの方も知識を備えていることが実感できた。子供の場合の対応方法は大人とは異なるため、注意してもらいたい。

(JJS)

2-1) 避難訓練

ラマダン前に避難訓練を行うようにという大使館からのアドバイスを受け、5月7日に避難訓練を実施予定。外部からの不審者の侵入を想定し、校内に設置したパニックルームを活用した訓練を行う。

2-2) 施設の管理

春休み中に、3階廊下の手すりのかさ上げ工事を実施した。手すりが30センチ高くなり、廊下を歩く際の安心感が増した。

2-3) 入学式、始業・着任式

4月13日に、小中学校の新1年生の入学式を実施予定。4月16日に、始業式と着任式を実施予定。

(質問)

空港情報として、各社ともターミナル3に移動する可能性があるか。

(回答1)

正式に空港側から7月末を持って移動しなさいと言う指示があったが、受け入れ態勢

が整っているかどうか不安な状況である。空港の整備面でも、空港内の規制面でも未整備状況なので、同社としても不安が残る状況である。

(回答2)

7月の移動は報道が先行しているだけで、正確な移動時期については現時点では明示できない。5月、6月にはラマダンやレバランがあるため、物事が止まる可能性があるため、7月の移動は現実的に厳しい状況。明確な移動時期の指示はなく、場所などの施設要件も明示されていない。現在、空港と交渉・調整している状況で、移転に関する詳細が決まり次第、出来る限り早目に皆様にはお知らせしたい。

(以上)